

令和 7 年度 篠井小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

感性豊かで、ともに生きることを喜び、よりよい自己と社会のために考え、行動する児童の育成
 健康で明るい子ども（きたえる） よく考え 自ら学習する子ども（かながえる）
 すなおで親切な子ども（たすけあう） 根気よく働く子ども（がんばる）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

篠井小学校の歴史と伝統を重んじながら、全教職員の使命感と協働の精神を基盤として、次代を担う子どもたち一人一人が、未来社会において多様な人々と共生しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていけるよう「心豊かでたくましく生きる力」を育む教育に取り組み、学校・家庭・地域が英知と熱意を結集し、一体となって「一人一人のよさが輝く活力あふれる楽しい学校」を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）教育目標達成に向けた特色ある教育課程の編成と更新

教育目標の達成に向けて、最新の教育研究の動向を見据え、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮しながら、地域の教育力を生かした創意工夫ある教育課程を編成し、特色ある教育活動を推進する。また、教育課程を常に評価し、よりよいものへと更新していく。

（2）学校職員の資質の向上

学校職員が崇高な使命を自覚し、人間性と専門性、指導力の一層の向上に努めるよう環境を整え、研鑽を促す。その際、超過勤務の縮減など業務の改善を推進する。（学校職員の資質の向上）

（3）人権尊重の精神に貫かれた学校経営の実現

（4）職員一人一人の創意が生きる民主的な学校運営

学校経営のビジョンを明確に示し、全職員と共有し、教育活動や学校運営などの方策においてボトムアップ型の提案が増やす。

（5）「地域とともにある学校」づくり

○保護者・地域・学校園内の学校及び各種団体、関係諸機関など、「チーム篠井小」との連携を密にし、「地域とともにある学校」づくりに努める。その際、保護者や地域に対して積極的に情報を共有し、信頼される学校を目指す。

[晃陽地域学校園教育ビジョン]

未来を見据え、地域と連携し、子どもが生き生きと学ぶ晃陽地域学校園

4 教育課程編成の方針

- （1） 関係法令、学習指導要領に基づき、栃木県教育振興基本計画、第2次宇都宮市学校教育推進計画等を踏まえ、各教科等の目標を達成、ひいては初等教育の目標を達成できるよう、必要な教育内容を組織的に配列する。また、今日的な社会の課題を解決するために必要な資質・能力を育成できるよう各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、教科等横断的な視点で教育の内容を組織的に配列する。
- （2） 教育目標である「感性豊かで、ともに生きることを喜び、よりよい自己と社会のために考え、行動する児童の育成」を実現するため、全人格的な陶冶をめざす教育課程を編成する。
- （3） 基礎的・基本的な知識及び技能及びこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、学びの原動力となる主体的に学習に取り組む態度をバランスよく養い、児童の生きる力、生涯にわたって学び続ける力を育む。
- （4） 児童の心身の発達の段階及び地域や学校の実態を考慮しながら、体験を通して学ぶことを重視するとともに、保護者や地域、専門家・関係諸機関等との連携・協働により社会に開かれた教育課程を編成する。

- (5) 小中一貫教育カリキュラムに基づき、保護者や見陽地域学校園内の各学校と連携を図りながら、義務教育9年間を見通した系統的な教育課程を編成する。
- (6) 前年度の教育課程について分析・評価し、校内各種計画と関連付けながら教育課程を改善することに組織的に取り組み、カリキュラム・マネジメントの確立、教育課程の一層の質的向上に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

○ 学力の向上

基礎・基本の確実な習得と思考力・判断力・表現力等を育むために、学びに向かう集団づくりと子どもが意欲的に取り組む授業づくり、児童の学習習慣の確立に努める。

○ 豊かな心の育成

「特別の教科道徳」や体験活動を核に、あらゆる教育活動を通して、生きる基盤となる道徳性を養うとともに、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を推進する。

○ 児童指導の充実

基本的な生活習慣の確立、自己有用感と規範意識の醸成、望ましい人間関係と社会性の育成を図る児童指導の充実に努める。

○ 健康・安全教育の充実

生涯にわたって健康で安全で活力ある生活を実現する力を育むために、自らの身を守るための行動力や判断力の育成、心身の健康や体力の増進、望ましい食習慣の確立に努める。

(2) 学習指導

主体的に学び、自分の思いや考えを伝え合う児童の育成

～生活科・総合的な学習の時間の学習活動を通して～

(3) 児童生徒指導

基本的な生活習慣を身に付け、よりよい学校生活にするため自ら考え行動に移すことのできる児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

・自己の健康・体力に関心を持ち、進んで体力の向上に励む児童の育成

—運動の日常化を図るための教科体育と外遊びの工夫—

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① ペア学習やグループ学習を意識的に取り入れていくことにより、児童が他者と協力したり、情報を集めて考えを深めたりしながら学習に取り組めるようにする。 ② 児童の興味・関心のある教材を用いたり、課題の設定の仕方や発問を工夫したりし、主体的に学習に取り組めるようにする。		【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】

1ー(2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 生活の中で、時と場に応じた適切な言葉使いの指導を推進する。(ふわふわ言葉の推奨) ② 人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③ 児童会活動やふれあい班等による異学年交流を通して、相手の立場を考えて思いやる心を育む。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
	A3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。 ② 学校生活において児童の主體的な活動を推進し、目標等を設定させるとともに、振り返りを充実させ、褒め合う活動を取り入れることで、意欲の持続や高揚を図る。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 警察署や駐在所、消防署の方と連携した防犯教室、避難訓練を実施し、防犯・防災意識を高め、適切な意思決定と行動選択ができるようにする。また、大規模自然災害時の引き渡し訓練等、保護者との連携体制の強化に努める。 ② 食育だより、保健だよりを毎月1回発行し、栄養面を含め食育や健康に対する家庭の意識の高揚を図る。 ③ 健康的な生活習慣の確立に向け、家庭科や保健の授業で、栄養士や養護教諭と連携し、授業を行い、各種便りに掲載することで家庭へ啓発を図る。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童の活躍の場を設け、児童同士が認め合えるようにするとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ③ キャリアパスポートを活用し、自分自身が様々な活動を通して成長していることを実感できるようにする。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 【次年度の方針】

2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 児童は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定 的回答 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 外国語活動(英語活動)を通じて、 言語や文化について体験的に理解 を深め、積極的にコミュニケーショ ンを図ろうとする態度を育成する。 ② 外国語活動(英語活動)に関する 校内研修や授業を相互に見合う機 会を充実して指導力の向上を図る。 ③ 学習内容を生かせるような体験 的な集会活動や行事などを取り入 れる。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さ を知っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定 的回答 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者の肯定的回答 70%以上	① 現職教育に『宇都宮学』に関する 研修を位置づけ、教師自身が宇都宮 市の歴史、文化、伝統産業、特産物 等について理解を深めるとともに、 総合的な学習の時間における『宇都 宮学』の内容の充実を図る。 ② 各種たよりや HP 等を通して、 『宇都宮学』に関する取組を積極的 に保護者や地域に発信し、地域や宇 都宮の良さに対する理解を深めさ せる。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定 的回答 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童が端末を時と場合に応じて 適切に使える能力を育成できるよ う、授業において積極的に I C T 機 器を活用する。 ② 各学年の授業内容との関連に配 慮した教育図書の整備充実等、学校 図書館の環境整備に努めるととも に授業において学校図書館司書の 積極的な活用を図る。 ③ 読書の時間や読み聞かせの時間、 図書だよりの発行などを通して児 童の読書意欲を喚起する。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定 的回答 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 総合的な学習の時間における環 境教育や「みやエコスクール」等 を通して、環境問題への関心を高め、 環境と調和しながら生きる意識や 態度を育成する。 ② 環境教育年間指導計画に基づき、 全教育活動を通して計画的に実施 する。 ③ 授業などで、SDG 's の書籍や掲示 物等を通して「持続可能な社会」に ついて紹介し、学ぶ機会を設ける。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】

3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ② 特別支援学級の児童はもとより、通常の学級においても、必要に応じて個別の支援計画を作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 道徳の授業や学級活動において、生命尊重やいじめを題材にした授業を、全クラスが学期に1回実施する。また、学校生活全体を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを理解させる。 ② いじめゼロ強調月間（年2回）を設定し、いじめゼロ集会の開催や児童から募集した標語等の掲示を行い、行事・係活動等を通して、思いやりの心をもって助け合うことの大切さを理解させる。 ③ 異学年交流活動等の中で、複数の教職員が児童の様子を観察することを通して、いじめの早期発見と迅速な対応に努める。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 担任は、いがいのあるクラスづくりに努め、児童が自己有用感をもてるようにする。 ② 教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体での情報共有を図る。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 創意ある活動の時間を教育課程に位置付け、教育活動にゆとりと広がりを持たせるようにする。 ② 学校行事や縦割り班活動等は、ねらいや役割を明確にした計画や指導の工夫に努め、児童が主体的かつ生き生きと活動できるようにする。また、各種便りを活用し、児童の様子がより保護者に伝わるようにする。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】

4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 基礎・基本を重視し、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等の能力を育成するために、学習内容に応じた学習形態の工夫や教材・教具の工夫を図り、個に応じた学習指導を充実させていく。 ② 宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」を手立てとして、課題の提示の仕方・課題解決の方法・学習の振り返りを適切に行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、指導・支援に当たる。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 【次年度の方針】
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教員と専門性を有するスタッフとの間で、それぞれの役割を明確にし、連携・分担を適切に行い、学校の教育力が向上するようなコミュニケーションに努める。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
4- (3) 学校における 働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が、勤務時間を意識するとともに、校務分掌の見直しや人員の配置を工夫し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ② 専門性を生かした教育活動を充実させ、「チームとしての学校」を推進し、学校内外の多様な人材が能力を発揮し、それぞれの専門性を活かした活動を展開する。 ③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
5- (1) 全市的な学校 運営・教育活動の 充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 学習習慣確立のために晃陽地域学校園として設定した「あいさつ・返事・姿勢」について、小中9年間継続指導を行う。 ② 6年生の中学校訪問の機会をとらえて小中交流活動を行う。 ③ 学校だよりや学校園だよりを活用し、取組の内容を、積極的に発信するとともに、地域や家庭においても協力してもらえるように啓発する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】

5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 地域協議会各部会活動と連携し、学校運営の充実を図る。 ② 学校ボランティアの活用やふれあい活動の推進など、地域と連携した教育を積極的に実践する。 ③ 出前授業や民間企業と連携した活動を年計に位置付ける。 ④ 授業参観、フリー参観及び学校行事を活用して学校の取組を披露することで、学校・家庭・地域が一体となって児童を育てる雰囲気を作成する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等のチェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。 ③ 熱中症予防対策、感染症予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 授業において、ICT機器を適切に活用している。 ② ICT支援員と連携し、機器の整備や児童への指導を行っている。 ③ 学級担任同士で連携し、ICT教育の活用の仕方を話し合う時間を確保する。	【達成状況】 教職員の肯定的回答： 【次年度の方針】
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 ○児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 児童を主体とした年4回のあいさつ運動を実施する。地域学校園においても、年2回、時期を合わせてあいさつ運動を展開する。振り返りカードの活用や表彰により実践意欲を高める。 ② あいさつの意味や大切さについて考えさせる機会を設定し、進んであいさつをしようとする態度を育てる。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
	B2 ○児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 全職員の共通理解に基づき、基本的な生活習慣の形成と社会規範及び責任を果たそうとする態度の育成に努め、「篠井小よい子の約束」を確認する。 ② 生活目標の達成を目指し、振り返りによる指導も徹底する。 ③ 授業、学校行事など毎日の生活の中で、時と場に応じた態度や行動の指導を行う。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】

	B 3 ○児童は地域のよさを理解して様々な人々と のふれあいを大切に し、地域に愛情や誇り をもっている。 【数値指標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① ふれあい活動やみどり活動、たんぼぼの会による読み聞かせなど、地域の方による活動に進んで参加し、感謝の気持ちがもてるようにする。 ② 生活科や社会科の校外学習、特別活動などを通じて、篠井地区について理解し、風土や歴史、地域の人々に対して、愛情や誇りをもてるようにする。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】
	【数値指標】 B 4 ○児童は生活をする中で、見通しをもって計画的に物事を進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしている。 【数値目標】 全体アンケートにおける肯定的回答 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学習や生活の場面で、目標をもち、見通しをもって、計画的に物事を進めている。 ② 学習や生活の場面で、問題が生じたとき、それまでのやり方を見直し、より良い方法について考え、改善しようとしている。 ③ 各種たよりや HP 等を通して取組内容を積極的に保護者に示していく。	【達成状況】 児童の肯定的回答： 教職員の肯定的回答： 保護者の肯定的回答： 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

副校長が記入

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

副校長が記入